

1. 安城市の概要

安城市の概況

愛知県のほぼ中央部に位置する本市は、名古屋から 30km 圏内で、北は豊田市や知立市、東は岡崎市、その他、刈谷市、高浜市、碧南市、西尾市に隣接しています。市内には東海道新幹線の三河安城駅があるほか、JR東海道本線、名鉄名古屋本線、名鉄西尾線があり、道路は国道1号、国道23号が市域を貫き、鉄道・道路ともにアクセス性が高くなっています。

本市は、明治用水の豊かな水に育まれ、「日本デンマーク」とうたわれる農業先進地として発展を遂げてきました。明治用水は、今も、緑・景観・レクリエーションの観点から重要な役割を果たす「軸」として機能しています。

また、東海道のマツ並木など貴重な史跡・文化財が数多くみられるほか、市の大部分を占める農地などの緑が残されていること、矢作川などの河畔林など多様な自然環境が存在していることが特徴です。

気象

本市における 2016 年（平成 28 年）の日平均気温は 16.1 度で、1991 年（平成 3 年）の日平均気温 15.3 度と比較すると、過去 25 年間で 0.8 度気温が上昇し、わずかに温暖化が進んでいます。

地形

本市の市域面積は 86.05km² で、地形の大半は、標高 10m から 20m 前後の洪積層地である碧海台地上にあり、また、河川沿いに低地が分布していることが特徴です。

人口の推移

1970 年（昭和 45 年）の総人口は 94,307 人でしたが、2015 年（平成 27 年）には 184,140 人となり、この 45 年間で約 89,800 人増加し、約 2 倍となっています。

また、65 歳以上の老年人口は年々増加しており、2010 年（平成 22 年）時点では、年少人口とほぼ同数でしたが、2015 年（平成 27 年）時点では、年少人口 28,829 人に対し、老年人口 35,936 人と約 7,100 人上回っており、少子高齢化の傾向が浮き彫りとなっています。

凡例

- 保護を要する植物群落
- 河川
- 台地
- 自然堤防
- 低地
- 傾斜地

